

## ネット動画の視聴を時間外学習化した授業の試み

特別支援教育講座・山下 光

### (1) 授業の概要

この授業は従来特別支援教育専攻の特別支援学校教育専修で言語聴覚士国家試験の受験を目指す学生が、神経系の解剖生理学と神経心理学の基礎を学ぶために開講されていたものである。その後、言語聴覚士養成が停止されたため、主に臨床心理学コースの学生を対象とした授業として開講されている。

平成 30 年度から心理臨床に関する国家資格として公認心理師の認定（試験）が開始されることになった。本大学院は臨床心理士認定協会の一種指定校であり、公認心理師の養成機関ではないが、経過措置として平成 29 年度までの入学者には国家資格の受験が認められる公算が高いことが分かった（その後、それが事実であることが確認された）。ただし、その場合には臨床心理士の教育課程に含まれない、医学に関する基礎科目を学習する必要がある。その中でも特に重要なのが、脳神経系の解剖生理に関する知識である。また、それらの知識は、臨床心理士として発達障害、高次脳機能障害、認知症などの器質性障害を正しく理解し、適切な評価・介入を行うことが出来るようになるためにも重要である。

しかし、受講生はそれらの知識をほとんどもたない状態であった。また、興味や関心も学生によってかなりばらつきがあった。

### (2) 実際の授業の展開

履修を登録した学生は 7 名であった。単元に関しては昨年度のものを一部修正して用いた。

1. 脳と行動の関係
2. 脳と知覚 I（視覚）
3. 脳と知覚 II（聴覚）
4. 脳と運動
5. 脳と記憶
6. 視覚認知の障害
7. 聴覚認知の障害
8. 聴覚・言語の障害 I（話し言葉）
9. 聴覚・言語の障害 II（読み書き）
10. ブレインマン・インターフェイス
11. 模倣、身振り、他者理解、手話と脳

### 12. 重度障害と脳

### 14. 実行機能と自己意識の障害

### 15. まとめ

昨年度の反省より、学生に予習をさせることで、最低限の知識を取得させておいて、それを基にした質疑応答や、知識の補完を行う形での授業の構成を考えた。

そこで、インターネット上で公開されている動画から、テーマ、難易度、長さが適切なものを予め選定しおき、URL と視聴上のポイント、視聴後に答える小問題（1～5 問程度）を記入した課題シートを作成し、配布した。授業は動画の視聴を前提に、各受講者の感想の披露と小問題への回等から開始し、追加資料とパワーポイントを使用して知識の整理と補完を行った。

結果として、昨年の授業で実際には多くの時間を使用した動画の視聴時間を節約することができた。ただし、独自のコンテンツを作成することが出来なかったため、動画の事前リサーチや課題シートの作成には予想以上の労力が必要であった。また、一部に海外の大学の HP で公開されている教材を使用した。

### (3) 時間外学習の促進

動画視聴を時間外学習としたことにより、学生の負担は大きくなったが、授業時間は有効に使用できるようになった。

### (4) 授業評価

授業最終日に、自由記述方式のアンケートを行った。「動画を見ることによって、理解が深まった」、「面白い動画で、興味が持てた」という意見があった一方、「長い物は見るのが苦痛」、「アクセスに苦勞する物があった」という意見もあった。特に海外の HP 上の動画については、「操作方法も含め、難しかった」という意見が多かった。

### (5) 反省点と総括

実際には、完全に目的にかなうフリー動画を探すのは困難であった。将来的には独自の教材の開発も視野に入れる必要がある。